

【国語】

| 学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 |
|-----------------|---|--|---|---|---|---|---|--|---|
| 学びの区分 | I期 | | | | II期 | | | III期 | |
| 育てたい力 | ○人の関わりや読書を通して、語彙を豊かにし、自分の考えを形成できるようにする。 | | | | 伝え合う力を高め、自分の考えを広げられるようにする。 | | | 自分の考えを論理的に伝えることができるようにする。 | |
| 指導のねらい | <ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、言語文化に親しみ、理解しようとする。 筋道を立てて考える力や豊かに想像する力を養い、伝え合う力や思いや考えをまとめる力を高めることができるようにする。 言葉がもつよさに気付き、幅広く読書をしようとする。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、言語文化に親しみ、理解しようとする。 筋道を立てて考える力や豊かに想像する力を養い、伝え合う力や思いや考えをまとめる力を高めることができるようにする。また、言葉がもつよさを認識し、幅広く読書をしようとする。 自ら進んで表現したり発表、発言するなど活発な言語活動を通して他者と共に学び取ろうとする態度を養う。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、言語文化に親しみ、理解しようとする。 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを深めることができるようにする。 言葉がもつ価値を認識し、読書を通して感性を高めようとする。 | |
| 話すこと・聞くこと | <ul style="list-style-type: none"> 自分の伝えたい事柄を選び順序に気を付けて話すことができる。 声の大きさや速さを工夫して話すことができる。 興味をもって、最後まで集中して聞くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 行動したことや経験したことに基づいて、事柄の順序を考えて話すことができる。 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞くことができる。 話し手が知らせたいことを知り、感想をもったり、質問したりできる。 | <ul style="list-style-type: none"> 話の中心を明確にし、相手に伝わるように自分の考えを話すことができる。 話の中心や場面を意識し、声の抑揚や強弱、間の取り方を工夫して話すことができる。 話の中心を捉え、相手の気持ちや場面を想像して聞くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 理由や事例などを挙げ、話の中心が明確になるように話の構成を考えながら話すことができる。 話の中心や場面を意識し、声の抑揚や強弱、間の取り方を工夫して話すことができる。 目的を意識して、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもって聞くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別したり、関連付けたりしながら話すことができる。 話し手の目的や自分が聞くこととする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えと共通点や相違点を比べながら聞くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えて話すことができる。 話し手の目的や自分が聞くこととする意図に応じて、話の内容を捉え、共通点や相違点を踏まえ、自分の考えをまとめながら聞くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 目的や場面に応じて、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係に注意して話すことができる。 話の内容を捉え、共通点や相違点を踏まえ、自分の考えをまとめながら聞くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、構成を工夫して話すことができる。 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考え方や自分の考え方をまとめながら聞くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の立場や考えを明確にし、相手を説得させることができるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫して話すことができる。 話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり、深めたり再構築することができる。 |
| 書くこと | <ul style="list-style-type: none"> 自分の思いが明確になるように、語と語や文と文との続き方に注意しながら、事柄の順序に沿って書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考えが明確になるように、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまり（始め・中・終わり）が分かるように書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 相手や目的を意識して、書く内容の中心を明確にし、段落に注意して書くことができる。 自分の考えとそれを支える理由を明確にして書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 相手や目的を意識して、書く内容の中心を明確にし、段落や段落相互の関係に注意して書くことができる。 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 筋道の通った文章となるように構成や展開を考え、自分の考えに応じて簡単に書いたり、詳しく書いたり、感想と意見を区別して書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の目的や意図に応じて、簡単に書いたり、詳しく書いたり、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなどして、自分の考えを伝えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 根拠を明確にし、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えて書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 根拠の適切さを考えて、説明や具体例を加えたり、比喩や表現の効果をj考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章を書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を選択し、多様な読み手を納得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫したり、資料を適切に引用したりするなど、自分の考えを明確に書くことができる。 |
| | 日記・手紙など | | 報告文・案内状やお礼状 | | 意見文 | | 意見・評論・編集文 | | |
| 読むこと・説明文 | <ul style="list-style-type: none"> 時間の順序や事柄の順序に沿って、内容の大体を読むことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えながら読むことができる。 キーワードやキーワードが分かる。 | <ul style="list-style-type: none"> 事実と意見の違いに気付き、事実と意見を区別して読むことができる。 中心となる語や文が分かり、小見出しを付けることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて叙述を基に捉えながら読むことができる。 中心文を理解し、要約ができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じた話題や内容、文章全体の構成を捉えて要旨を捉えながら読むことができる。 文章と図表などを結び付けて読むことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に捉え、文章全体の構成を捉えて要旨を把握しながら読むことができる。 論の進め方を考えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握しながら読むことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示を捉えて読むことができる。 目的に応じた複数の情報を整理したり、適切な情報を得たりしながら読むことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方を捉えて読むことができる。 文章を批判的に読みながら、文章に表れている見方や考え方を捉えながら読むことができる。 |
| 物語文 | <ul style="list-style-type: none"> だれが、いつ、どこで、どんなふうに、何を、何を言った、どうなったなどを捉えながら読むことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えて読むことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えながら読むことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の気持ちの変化や人が、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像しながら読むことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えながら読むことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を捉えながら読むことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えながら読むことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えたり、言動の意味などについて考えたりしながら読むことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 文章から考えを広げたり、深めたりして、人間、社会、自然などについて自分の意見をもちながら読むことができる。 |
| 言葉の特徴や使い方の関する事項 | <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 文の中における主語と述語の関係に気付くこと。 (必要語彙) 身近なことを表す語句 | <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。 主語と述語の関係、修飾と被修飾の関係、指示語と接続語、段落の役割について理解すること。 (必要語彙) 様子や行動、気持ちや性格を表す語句 | <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。 文中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。 (必要語彙) 思考に関わる語句(表現技法) 比喩、反復など | <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。 文中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。 (必要語彙) 思考に関わる語句(表現技法) 比喩、反復、倒置、体言止めなど | <ul style="list-style-type: none"> 単語の類別について理解するとともに、指示語と接続語の役割について理解を深めること。 (必要語彙) 事象や行為、心情を表す語句(表現技法) 比喩、反復、倒置、体言止めなど | <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付くこと。 助詞や助動詞、文の成分の順序や照応など、話や文章の構成や展開について理解を深めること。 (必要語彙) 抽象的な概念を表す語句 | <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付くこと。 助詞や助動詞、文の成分の順序や照応など、話や文章の構成や展開について理解を深めること。 (必要語彙) 抽象的な概念を表す語句 | <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付くこと。 助詞や助動詞、文の成分の順序や照応など、話や文章の構成や展開について理解を深めること。 (必要語彙) 抽象的な概念を表す語句 | <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付くこと。 助詞や助動詞、文の成分の順序や照応など、話や文章の構成や展開について理解を深めること。 (必要語彙) 抽象的な概念を表す語句 |

【社会科】

| 学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 |
|--------|--|-----|---|---|---|---|--|--|----|
| 学びの区分 | I期 | | | II期 | | | III期 | | |
| 育てたい力 | <ul style="list-style-type: none"> ○国際社会や我が国の国土と歴史、歴史と文化、地域社会、とりわけ港区に対する興味・関心とそれらに対する愛情心 ○社会的事案に関心をもち、資料に基づいて多面的・多角的に思考する力 ○社会的事案について課題をもって資料を調べたり、体験的な活動に取り組んだりして、解決に向けて追究し、まとめ、表現する力 ○社会生活や我が国の国土と歴史に関する基礎的・基本的な知識 ○平和で民主的な国家・社会の形成者としての自覚 ○自他の人格を互いに尊重し合う態度能力、社会的義務や責任を果たそうとする態度や能力、社会生活の様々な場面で多面的に考えたり、公正に判断したりする態度や能力 | | | | | | | | |
| 指導のねらい | 身近な地域の様子について、観察・調査したり地図などの資料を調べたりして、身近な地域の様子を理解できるようにする。 事故や火災から地域の人の安全を守る働きについて、調べたり考えたりすることを通して、地域や自分自身の安全を守るために自分たちができることを考えようとする態度を養う。 | | | 国土の様子について各冊の資料で調べ、表現することを通して、位置や構成、範囲などを大まかに理解できるようにする。 我が国の政治の働きや歴について、調査したり調べたりしてまとめることで、時代の変遷を理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。 | | | 世界の様々な諸地域・日本の様々な諸地域の理解 我が国の歴史の流れ、世界の歴史との関わり方の理解 開民主権を担う公民としての基礎的教養 | | |
| 重点指導事項 | 地理的分野 | 生活科 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校のまわり ・港区の様子 ・工場の仕事 | <ul style="list-style-type: none"> ・東京都の特色 ・47都道府県 ・染め物のさかんな新宿区 ・ゆたかな自然を守る生かす八丈島 ・国際交流に取り組む町 ・美しい景観を守る町 | <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの国土（位置・地形・気候） ・私たちの生活と食料生産（農業・水産業・食料） ・私たちの生活と工業生産（自動車・運輸・貿易） ・自然災害（風水害・地震・津波・雪害・噴火） | <ul style="list-style-type: none"> ・世界の中の日本（つながりの深い国々、他国の生活・年中行事・産業） | <ul style="list-style-type: none"> ・世界と日本の地域構成（六大陸、三大洋、国名と位置、緯度と経度、地球儀と世界地図、日本の位置・領域・時差、地方区分） ・世界のさまざまな地域（人々の生活と環境）（世界の諸地域：7地方区分） | <ul style="list-style-type: none"> ・日本のさまざまな地域（身近な地域の調査）（日本の地域的特色）（日本の諸地域：7地方区分） ・地域の在り方 | |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・人々の移り変わり（道具・町の様子・土地利用、人口） ・昔のくらし | <ul style="list-style-type: none"> ・残したいもの・伝えたいもの ・古いまちなみを生かす町 ・谷に囲まれた台地に水を引く ・玉川兄弟と玉川上水 | <ul style="list-style-type: none"> ・公害（四大公害病がどのような経緯で広まり、その後どのような影響があったか） | <ul style="list-style-type: none"> ・日本の歴史（人物史・戦国時代・戦争・文化遺産） | <ul style="list-style-type: none"> ・歴史へのとびら（歴史をとらえる見方・考え方）（身近な地域の歴史） ・古代までの日本（古代文明・古代の日本の政治と文化） ・中世の日本（武家政権・文化・産業の発達） | <ul style="list-style-type: none"> ・近世の日本（ヨーロッパの影響、下剋上、天下統一と江戸幕府の成立、文化、産業の発達、幕政の改革） ・開国と近代日本の歩み（市民革命、開国、明治維新、自由民権運動、日清・日露戦争） ・二度の世界大戦と日本（第一次世界大戦、社会運動、太平洋戦争） ・現代の日本の私たち（占領下の日本、高度経済成長、持続可能な社会に向けて） | |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・主な公共施設とその働き（警察や消防の配置・緊急時への備えや対応） ・店で働く人（スーパーマーケットで働く人々の願い、販売の仕方、他地域との関わり） | <ul style="list-style-type: none"> ・風水害からくらしを守る ・住みよいくらし ・水とゴミ（飲料水はどのようにして人々のもとに届くのか、捨てたゴミはどのようにして処理されるのか） | <ul style="list-style-type: none"> ・情報化した社会（産業・くらし） ・生活と環境（時事的事象） | <ul style="list-style-type: none"> ・政治の働き（選挙・子育て支援・震災復興） ・日本国憲法 ・世界の未来と日本の役割 | <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会と私たち（現代文化の特色・生活と文化、現代社会の見方・考え方） ・個人の尊厳と日本国憲法（人権と日本国憲法、共生社会・人権保障） ・現代の民主政治と社会（民主政治、国の政治の仕組み、地方自治） ・私たちの暮らしと経済（消費生活と市場経済、生産と労働、金融、財政と福祉） ・地球社会と私たち（国際社会、国際問題、より良い社会を目指して） | | |

【算数・数学科】

| 学 年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | |
|-------------|--|----------|---|----------------------------|---|---|-------------------------------|--|---------------------|--------------------|
| 学びの区分 | Ⅰ期 | | | | Ⅱ期 | | | Ⅲ期 | | |
| 指導のねらい | <p>○数量や図形に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。 ○数量や図形に関する感覚を豊かにする。 ○自分の考えを説明・表現する。 ○単位の考え方、関数の考え方などの数学的な考え方の素地を養う。 ○東京ベーシックドリルを活用し、基礎基本の確実な定着をさせる。</p> | | | | <p>○数の範囲を拡張し、数や式の意味理解を深め、計算の仕方を身に付ける。 ○図形の弁別や作図を通して、論理的な考え方を身に付ける。 ○算数・数学的な活動を通して、根拠を明確にして自分の考えを説明したり、表現したりすることができる力を身に付ける。</p> | | | <p>○文字を用いた式の四則計算の仕方を身に付ける。 ○数の範囲の拡張により、数の概念の理解を深め、広く考察・処理する力を身に付ける。 ○方程式の値類を知り、問題解決に利用する力を身に付ける。 ○図形に関する性質を発見し、論理的に説明する力を身に付ける。 ○確率、統計の考え方を身に付けることで、自然現象や社会現象を考察する力を身に付ける。</p> | | |
| 重点指導事項 | 数と計算 (1～6) | 数の構成と表し方 | 数の構成と表し方 | 小数・分数の表し方 | 整数の表し方 概数と四捨五入 分数の加減 | 約数と倍数 小数の乗法・除法 | 分数の乗法・除法 | 正の数・負の数 | 文字を用いた式の四則計算 | 平方根 |
| | 数と式 (7～9) | 1位数の加減 | 2位数の加減 乗法九九 | 1位数の除法 2位数の乗法 □を用いた式 | 2位数の除法 四則混合 □/△を使った式 | 分数の加減 分数の乗法 | 文字を用いた式 | 文字を用いた式 一元一次方程式(比例式) | 連立二元一次方程式 | 式の展開と因数分解 二次方程式 |
| | 図形 | 身の回りの形 | 三角形・四角形・ 正方形・長方形・ 直角三角形 | 二等辺三角形 正三角形 | 平行四辺形 ひし形・台形 直方体・立方体 | 三角形・平行四辺形・ひし 形・台形の面積 体積の単位(cm^3, m^3) | 扇形・拡大図 対称な図形 | 平面図形 | 基本的な平面図形と平行線 の性質 | 図形の相似 円周角と中心角 |
| | | | 箱の形 | 角・円・球 | 正方形・長方形の面 積($\text{cm}^2, \text{m}^2, \text{km}^2, \text{a}, \text{ha}$) | 角・円柱 | 楕円とおよその面積 円の面積 角柱・円柱の体積 | 空間図形 | 図形の合同 | 二平方の定理 |
| | 測定 (1～3) | 大きさの比較 | 長さ(mm, cm, m) 体積の単位(mL, dL, L) 測定 | 長さ(km) 重さ(g, kg, t) | 変化の様子と表や式 | 簡単な比例 速さ | 比例と反比例 | 比例・反比例 | 一次関数 | 関数 |
| | 変化と関係 (1～6) | | | | | | | | | |
| 関数 (7～9) | 時刻の読み方 | 時間の単位 | 時間の単位(秒) | 折れ線グラフ | 割合(百分率) | 比 | | | | |
| データの 活用 | | | | データの分類整理 | 円グラフ・帯グラフ | 度数分布表 ヒストグラム ドットプロット | データの分布の傾向 | データの分布の比較 | | |
| | 絵・図 | 表・グラフ | 表・棒グラフ | 折れ線グラフ | 平均 | 起こり得る場合 | 多数の観察や多数回の試行 によって得られる確率 | 場合の数を基にして得られ る確率 | 標本調査 | |

| 学年 | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | | | | | | | |
|--------|--|--|--|--|--|---|---|--|---|--|--|---|---|---|---|---|--|
| 学びの区分 | | I期 | | | | II期 | | | III期 | | | | | | | | |
| 育てたい力 | | 自然の事象・現象に知的好奇心やもち、不思議だと思うことや調べたいと思うことを観察・実験・工作などによる体験的な活動を通して、楽しみつつ粘り強く解決しようとする力 | | | | 自然の事象・現象に知的好奇心や探究心、目的意識をもち、その予らりの観察・実験方法を考え、活動を行うことを通して、観察や実験の結果を基に、仲間や自分の考えを比較しながら、事象や現象を科学的に調べ、課題を解決しようとし、得た知識を大社会の事象・現象の理解や問題解決に結びつけようとする力 | | | 自然の事象・現象を科学的に探究することができ、概念や原理・法則の理解やそれを応用した科学技術がもたらす恩恵と弊害の両面に目を向け、地球に住む人類として、「自然と調和した世界をつくっていくために、自分はどうしていくべきか」という問いに対して、科学的な根拠に基づいて賢明な意思決定ができる力 | | | | | | | | |
| 指導のねらい | | 自然の事象・現象について追究する中で、着眼点や共通点を基に問題を見出し、表現する力の育成が重点。 | | | | 既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を流暢にする。問題解決の力の育成が重点。 | | | 条件を制限しながら調べる活動を通して、予想や仮説を基に、解決の方法を考案し、表現する力の育成が重点。 | | | 自然の事象・事象から見いだした問題について追究し、より妥当な考えをつくりだす問題解決の力の育成が重点。 | | | 様々な実験器具において、7年生から初めて使用するものが多いため、正しい使用方法を確実に習得できるようにする。また、各単元における学習内容は小学校時の既習事項をさらに深めたものになっている。そのため、小学校の基礎知識の確認とともに、知識を活用した学習に取り組み、柔軟な思考力や問題解決能力を養っていく。また、実験において自ら見通しをもって解決する方法を立案し、その結果を分析し解釈するという、逆の流れを確立できるようにしていく。 | | |
| 重点指導事項 | 生命 | 身近ないのち | | 結びつくいのち | | 向まれるいのち | | 関わり合ういのち | | いろいろな生物とその共通点 | | 生物の体のつくりとはたらき | | 生命の連続性 | | 自然と人間 | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 身の回りの生物 植物・昆虫・動物の育ち方 身近に、どのような生き物がいるのだろうか。 ★観察・観察カード(レポート) | | <ul style="list-style-type: none"> 人の体のつくりと運動 季節と生き物 生物の動きは、どのようなこととつながっているのだろうか。 ★観察・レポート | | <ul style="list-style-type: none"> 植物の芽生え・成長・結実 動物の誕生 植物や動物のいのちが生まれるまでの仕組みはどのようになっているのだろうか。 ★観察・レポート | | <ul style="list-style-type: none"> 人の体のつくりと働き 植物の養分と水の通り道 生物と環境 人と生物は、どのように関わり合っているのだろうか。 ★観察・レポート | | <ul style="list-style-type: none"> 植物の特徴と分類 動物の特徴と分類 生物は地球環境とどのようにつながっているのか。 ★観察・スケッチ・レポート ★小・中学生による環境に関する自主研究 | | <ul style="list-style-type: none"> 生物の体をつくるもの 植物の体のつくりとはたらき 動物の体のつくりとはたらき 動物の行動のしくみ 生物は、体の中や側面などでどのように変え合っているのか。 ★観察・スケッチ・レポート | | <ul style="list-style-type: none"> 生物のふえ方と成長 生物の遺伝性と遺伝子 生物の個体の多様性と進化 生物が今後も命をつなぎ続けていくために私達に何が必要か。 ★観察・スケッチ・レポート | | <ul style="list-style-type: none"> 自然界のつり合い さまざまな物質の利用と人間 科学技術の発展 人間と環境 持続可能な社会を目指して | |
| | 地球 | 屋外に出てみよう1 | | 屋外に出てみよう2 | | 天気と川の変化 | | 地球の姿と月の姿 | | 活きている地球 | | 地球の大気と天気の変化 | | 宇宙を見る | | ★観察・レポート | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 太陽と地面の様子 太陽と影はどのように関わり合っている。太陽の光はどのような性質をもっているのだろうか。 自然現象は、時間の経過とどのような関連があるのだろうか。 ★観察・レポート | | <ul style="list-style-type: none"> 雨水の行方と地面の様子 天気の様子 月と星 川の水の流れ方は、どのように変化しているのだろうか。また、大気の変化は何と関係があるのだろうか。 ★観察・レポート | | <ul style="list-style-type: none"> 流れる水の流れと土地の変化 天気の変化 川の川の水の流れ方は、どのように変化しているのだろうか。また、大気の変化は何と関係があるのだろうか。 ★観察・レポート | | <ul style="list-style-type: none"> 土地のつくりと変化 日と太陽 地球の土地や、地球から見た月の形はどのように変化しているのだろうか。 ★実験 | | <ul style="list-style-type: none"> 身近な大地 ゆれる大地 火をふく大地 揺る大地 地震変動は、私達の生活にどのような影響をあたえているのだろうか。 ★観察・スケッチ・レポート | | <ul style="list-style-type: none"> 地球をとり巻く大気の様子 大気中の水の変化 天気の変化と大気の様子 大気の流れと日本の四季 気象は、私達の生活や地球環境にどのような影響を与えているのか。 ★観察・実験・レポート | | <ul style="list-style-type: none"> 地球から宇宙へ 太陽と恒星の動き 月と金星の動きと見え方 宇宙における運動の原理・法則は私達の生活の中でどのように利用されているのか。 ★観察・レポート | | | |
| エネルギー | 身近な力 | | エネルギーの変換と保存 | | 磁力と力 | | 電気の力と利用 | | 光・音・力による現象 | | 電流とその利用 | | 運動とエネルギー | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 風とゴムの動き 光と音の性質 磁石の性質 電気の通り道 身近にある様々な力は、どのような性質をもつのだろうか。 ★ものづくり | | <ul style="list-style-type: none"> 電池の動き 電池の数が2本以上であると、回路の強弱によって動きがちがいが現れるのだろうか。 ★ものづくり | | <ul style="list-style-type: none"> 振り子の運動 電流がつくる磁力 振り子や磁石の性質を、どのように生かすことができるのだろうか。 ★ものづくり | | <ul style="list-style-type: none"> この規則性 電気の利用 てこや電気の規則性を、どのように生かすことができるのだろうか。 ★ものづくり | | <ul style="list-style-type: none"> 光による現象 音による現象 力による現象 自然現象から見いだした現象の性質や規則性は私達の生活の中でどのように利用されているのか。 ★ものづくり・実験・レポート | | <ul style="list-style-type: none"> 電流の性質 電流の正体 電流と磁界 電流と磁界のはたらきによって起こる様々な現象は、日常生活のどのような場面で利用されているのか。 ★ものづくり・実験・レポート ★発明くふう展 | | <ul style="list-style-type: none"> 力の合成と分解 物体の運動 仕事とエネルギー 多様なエネルギーとその移り変わり エネルギー資源とその利用 地球における運動の原理・法則は私達の生活の中でどのように利用されているのか。 ★実験・レポート | | | | |
| 粒子 | 物と働き | | 粒子の存在・粒子のもつエネルギー | | 溶け方の規則性 | | 仕組みと性質 | | 身のまわりの物質 | | 化学変化と原子・分子 | | 化学変化とイオン | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 物の働き 物の働きは、形によって変化するのだろうか。また、同じ体積の物の重さは、物質の違いによって変化するのだろうか。 ★ものづくり | | <ul style="list-style-type: none"> 空気と水の性質 金属、水、空気と温度 目には見えない現象について、道具を活用し観察することで見える化し、説明できるのだろうか。 ★観察・実験 | | <ul style="list-style-type: none"> 物の溶け方 目には見えない現象は、状態を変化させることで、説明しやすくなるのだろうか。 ★観察・実験 | | <ul style="list-style-type: none"> 燃焼の仕組み 水溶液の性質 目には見えない現象は、任意の存在を仮定することで説明しやすくなるのだろうか。 ★観察・実験 | | <ul style="list-style-type: none"> いろいろな物質とその性質 いろいろな気体とその性質 水溶液の性質 物質のすがたとその変化 自然現象から見いだした性質や規則性は私達の生活の中でどのように利用されているのか。 ★ものづくり・実験・レポート | | <ul style="list-style-type: none"> 物質の成り立ち 物質の表し方 さまざまな化学変化 化学変化と物質の質量 物質の性質や規則性は、私達の生活の中でどのように利用されているのか。 ★実験・レポート | | <ul style="list-style-type: none"> 水溶液とイオン 電池とイオン 酸・アルカリと塩 イオンは私達の日常生活にどのように関わっているのか。 ★実験・レポート | | | | |

【生活科】

| 学年 | | 1年 | 2年 |
|----------------|--------------------------|---|--|
| 学びの区分 | | 1期 | |
| 育てたい力 | | <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付き、生活上必要な習慣や技能 ・自分自身や次学年の生活について考え、表現する力 ・意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度 | |
| 重点 指導 事項 | 学校、家庭及び地域の生活に関する内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○なかよしっばいだいさくせん 学校内の部屋、学校のルール・歩き方を知る ○みんなのにこにこ大きくせん 家庭での手伝い、自分で出来ること | <ul style="list-style-type: none"> ○さあ、きょうから2年生 学校探検計画、準備、活動・1年生のお世話 |
| | 身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○なつともだち 水遊び、水・日光 ○さかせたいなわたしのはな アサガオの栽培(一人一鉢) ○あきといっしょに ドングリ、落ち葉を使ったおもちゃ作り ○ふゆともだち 昔遊び・風を使ったおもちゃ作り、遊び | <ul style="list-style-type: none"> ○まちをたんけん大はっけん 地域巡り・公共の施設、地域について知る ○ぐんぐんそだて おいしいやさい ミニトマトの栽培(一人一鉢) ○小さな友だち 秋の虫調べ(タブレットの活用) ○もっともつとまちたんけん みなと図書館・みなと科学館・芝郵便局・芝大神宮・御成門中学校等 ○あそんで ためして くふうして ゴムや磁石、おもりを使った遊びを計画、制作、遊び |
| | 自分自身の生活や成長に関する内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○もうすぐみんな2年生 幼稚園・保育園との交流(1年生体験) | <ul style="list-style-type: none"> ○広がれ、わたし 0歳から7歳までの振り返り、家族への感謝 |

【音楽科】

| 学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 |
|----------|--|---|---|--|---|----|------|----|----|
| 学びの区分 | I期 | | | II期 | | | III期 | | |
| 育てたい力 | <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現に必要な技術を身に付ける。 ・音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや曲や演奏の楽しさを見出しながら音楽を味わって聴く。 ・楽しく音楽に関わり協働して音楽活動する楽しさを感しながら、身の周りの様々な音楽に親しむとともに音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにするようとする態度を養う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽を表現するために必要な技術を身に付ける。 ・音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見出しながら音楽を味わって聴く。 ・曲想と音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにするようとする態度を養う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽を表現するために必要な技術を身に付ける。 ・音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見出しながら音楽を味わって聴く。 ・曲想と音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにするようとする態度を養う。 | <ul style="list-style-type: none"> ①曲想と音楽の関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技術を身に付けるようにする。 ②音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 ③主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通じて、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。 | | | | | |
| 知識・技能 | <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わり、楽器の音色と演奏の仕方について気付く。 ・歌唱や器楽を聴いて演奏したり、陪名で模唱唱したりする。自分の歌声や発音に気を付けて歌ったり、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌ったりする。リズム譜などを見て演奏したり、音色に気を付けて旋律楽器及び打楽器を演奏したりする。 ・身の周りの様々な音の特徴や音やフレーズの特徴、音やフレーズの特徴に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする。音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる。 ・曲想と音楽の構造の関わりについて理解して音楽を聴く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わり、楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて理解する。 ・ハ長調及びイ短調の楽譜を演奏したり、呼吸・発声に気を付けて自然で無理のない歌い方で歌ったり、音色や響きに気を付けて楽器を演奏したり、互いの音や劇的な旋律、伴奏を聴いて音に合わせて演奏したりする。 ・いろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴、音やフレーズの特徴のつなげ方や重ね方の特徴に気付く。設定した条件で即興的に音を選んだりつなげたりして表現する。音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる。 ・曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解して音楽を聴く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わり、多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて理解する。 ・ハ長調及びイ短調の楽譜を演奏したり、呼吸・発声に気を付けて自然で無理のない、響きのある歌い方で歌ったり、音色や響きに気を付けて演奏したり、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて音に合わせて演奏する。 ・いろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴、音やフレーズの特徴のつなげ方や重ね方の特徴を生み出す面白さを理解する。設定した条件で即興的に音を選んだりつなげたりして表現する。音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる。 ・曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解して音楽を聴く。 | <ul style="list-style-type: none"> 歌唱①知識 <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び響きとの関わり、声の音色や響き及び言葉の特性と曲線に応じた発声との関わり ②技能 <ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能 器楽①知識 <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わり ②技能 <ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能 創作①知識 <ul style="list-style-type: none"> ・音のつながり方の特徴、音楽材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴 ②技能 <ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能 鑑賞①知識 <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり、我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性 | | | | | |
| 思考・判断・表現 | <ul style="list-style-type: none"> ・曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図をもつ。 ・音遊びを通して、音楽づくりの発想を得たり、反復、呼びかけとこたえ、変化などをもちいて音を音楽にしていくかについて思いをもつたりする。 ・鑑賞についての知識を生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図をもつ。 ・即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たり、反復、呼びかけとこたえ、変化などの関係などを用い、どのようにまとまりを思いついた音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。 ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・曲の特徴によさしい表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図をもつ。 ・即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たり、反復、呼びかけとこたえ、変化、音楽の線と横との関係などの音楽の仕組みを用い、どのように全体をまとまりを思いついた音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。 ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。 | <ul style="list-style-type: none"> 歌唱：歌唱表現に関する知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫すること。 器楽：器楽表現に関する知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫すること。 創作：創作表現に関する知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫すること。 鑑賞：鑑賞に関する知識を得たり生かしたりしながら、対次の(ア)から(イ)までについて自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。(ア)曲や演奏に対する評価とその根拠(イ)生活や社会における音楽の意味や役割(ウ)音楽表現の共通性や固有性 | | | | | |
| 学びに向かう力 | 楽しく音楽に関わる。 | 進んで音楽に関わる。 | 主体的に音楽にかかわる。 | 主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組む。 | 主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組む。 | | | | |
| 教材例 | うみ、かたつむり、ひのまる、ひらいたひらいた、かくれんぼ、春が来た、虫の甲、ゆうやけこやけ、鍵盤ハーモニカ、小物打楽器、鉄琴 | うさぎ、チャップリン、春の小川、ふじ山、さくらさくら、とんぼ、まさげの朝、もみじ、リコーダー、木琴、ラテン打楽器、箏、和太鼓、金管楽器、木管楽器の曲の鑑賞、気遣子の曲の鑑賞 | こいのぼり、千守歌、傘付けしき、スキーの歌、越天祭今柳、おぼろ月夜、ふるさと、われは海の子、弦楽四重奏の曲、音楽鑑賞教室（オーケストラ曲）日本の民謡や雅楽、世界の国々の音楽の鑑賞 | 歌唱：「春とんぼ」「浜辺の歌」「COSMOS」 器楽：和太鼓、ゴアリズム 創作：リズム創作 鑑賞：「魔王」「春」「雑祭」「六段の調」「日本の民謡」「アジアの諸民族の音楽」 | 歌唱：「紫城の月」「夏の思い出」「時の旅人」 器楽：キーボード 創作：旋律創作 鑑賞：「交響曲第5番」「ワーグナー短調」「オペラ」「歌劇」「世界の諸民族の音楽」 | | | | |

【図画工作・美術科】

| 学 年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | | | |
|---------------|---|----|----|----|--|----|----|---|----|--|---|--|
| 学びの区分 | I期 | | | | II期 | | | III期 | | | | |
| かかわり | | | | | | | | | | | | |
| 育てたい力 | <p>○手・指・目など体全体を使って作ったり見たりする楽しさや喜びを感じることができる力</p> <p>○自分の表現に自信を持てる力</p> <p>【つくる喜びと、自己肯定感】</p> | | | | <p>○形や色を手掛かりに、発想やイメージをもつ力</p> <p>○自分の思いや意味を持つことができ、それを基に作ったり見たりすることができる力</p> <p>【形や色・イメージを基に自分なりの意味を持つ】</p> | | | <p>○形や色・イメージを手掛かりに、よりよいものを目指して試行錯誤をする力</p> <p>○造形表現を通して、他者と関わることができる力</p> <p>【形や色・イメージを基に、課題を追究する力とコミュニケーションする力】</p> | | | <p>○形や色・イメージを手掛かりに、自己の価値や良さを発見し表現する力</p> <p>○学んだことを生かして作り、生み出そうとする力</p> <p>○造形表現を通して、自己と社会、過去と未来などの関係について考え、よりよくしていこうとする力</p> <p>【形や色・イメージを基に、課題を追究する力とコミュニケーションする力】</p> | |
| 造形的な見方や考え方 | <p>・色や形から別のイメージを広げるなど見立てる。</p> <p>・絵の具を水でうすめたり、混色をしたり、色セロファンや紙や粘土、絹などの材料を選んだり組み合わせたりする。</p> <p>・絵を描き合ったり、スタンプを押し合うなどして、造形的にかかわりあう。</p> | | | | <p>・個人絵の具をパレットで混色する際、それぞれの色の混ぜる量を意図的にえたり、作った色を分類するなどして色の特性を感じたり知ったりする。</p> <p>・「直線」「曲線」「点」「面」などの形の良さや面白さを感じる。</p> | | | <p>・「直線」「曲線」「点」などの形の面白さや美しさを感ずる。</p> <p>・「反復」「回転」「シンメトリー」「奥行」などの空間の特徴や面白さ美しさを感ずる。</p> | | | <p>・造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫、目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感ずり見方を深め、作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合うなどして、美意識を高め幅広く味わう。</p> <p>・自然や美術作品、文化遺産などの鑑賞を通して、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を広げる。</p> | |
| 知識・技能 | <p>・自分たちの作品や身近な材料を楽しく見て、感じたことを話したり聞いたりする。</p> <p>・表したいことに合わせて鉛筆やパス、コンテなどの用具や紙や粘土、絹などの材料を選んだり組み合わせたりする。</p> <p>・絵を描き合ったり、スタンプを押し合うなどして、造形的にかかわりあう。</p> <p>○共用えのぐ</p> <p>○並べる・積む</p> <p>○ローラー</p> <p>○ふで・はけ</p> <p>○紙やすり</p> <p>○はさみ・カッター</p> <p>○やまとのり(指)</p> <p>○簡単な版技法(ステンシル、紙出版画)</p> | | | | <p>・自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程などを鑑賞して、自分なりによさや面白さを感じ取り、言葉に書いたり話したりして、表し方や材料による違いが分かる。</p> <p>・表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かして選んだり組み合わせたりして表す。</p> <p>・友だちや身近な作品などの良さや面白さを感じる。</p> <p>・造形遊び等の造形的なかわりあいを通して、友だちの良さに気付く。</p> <p>○個人絵の具・パレットと混色</p> <p>○ローラー等でのグラデーション</p> <p>○カッター、段ボールカッター、簡単な小刀、彫刻刀</p> <p>○木工ボンド</p> <p>○鉄やすり</p> <p>○釘と金づち</p> <p>○版技法(紙・木)</p> <p>○多様な絵の具技法</p> | | | <p>・自分たちの作品や我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の作品を鑑賞して、よさや美しさを感じ取り、言葉に書いたり話したりして、表し方や材料による違いが分かる。</p> <p>・表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かして使うとともに表現に適した方法などを組み合わせる。</p> <p>○墨</p> <p>○用具を自作する</p> <p>○電動糸のこ盤</p> <p>○多色版画</p> <p>○小刀、きり</p> <p>○ねじ、ドライバー、簡単な電動工具</p> | | | <p>・身近な地域や日本及び諸外国の美術の文化遺産などを鑑賞し、そのよさや美しさなどを感ずり取り、美術文化に対する関心を高める。</p> <p>・形、色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する。</p> <p>・形、色彩、材料などで自らの思いや意図を表現するのに必要な技能、色彩に関する基礎的な知識や混色、材料の性質や用具の使い方など、表現の基礎となる知識や技能を身に付ける。</p> <p>○ポスターカラー ○色鉛筆 ○ペン ○粘土 ○紙</p> | |
| 思考・判断・表現 | <p>・身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に思いつく。</p> <p>・感じたことや想像したこと、表したいことを見つけて表す。</p> <p>・好きな形や色を手がかりにして、作ったり作りかえたりする。</p> <p>・友だちの作品などの良いところを見付ける。</p> | | | | <p>・材料や身近な場所、形や色などを基に発想する。</p> <p>・感じたことや想像したこと、見たことから表したいことを見つけて表す。</p> <p>・形や色、材料の特徴を手がかりにして作ったり作りかえたりする。</p> <p>・感じたことや思ったことを話したり、友人と話し合ったりするなどして認め合う。</p> | | | <p>・材料や身近な場所、形や色などの特徴を基に発想する。</p> <p>・感じたことや想像したこと、見たことから、伝えたいことから表したいことを見つけて表す。</p> <p>・形や色、材料の特徴や構成の美しさを感じ、それを手がかりにして、想像力を働かせ、作ったり作りかえたりする。</p> <p>・自分と友だちや他学年の作品、我が国や諸外国の作品を大切にみる。</p> <p>・友だちや身近な作品などの良さや美しさを感じとる。</p> <p>・造形遊び等の造形的なかわりあいを通して、自分と友だちの表し方、表現の意図や自分との違いに気付く。</p> <p>・感じたことや思ったことを話したり、友人と話し合ったりするなどして認め合う。</p> | | | <p>・対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する。</p> <p>・他者の立場に立って、伝えたい内容について分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練る。</p> <p>・身の回りの具体的な出来事や場面、人々が生活する姿などに目を向ける。</p> <p>・身近な地域や日本及び諸外国の美術の文化遺産などを鑑賞し、そのよさや美しさなどを感ずり取り、美術文化に対する関心を高める。</p> | |
| 主体的に学習に取り組む態度 | <p>・自分の感覚や気持ちを生かしながら表すことを楽しむ。</p> <p>・材料などに、手や指・体全体でかかわり、心をひらく。</p> <p>・自分の作品を大切にみる。</p> | | | | <p>・自分の感覚や気持ちを生かしながら工夫して表現したり鑑賞することを楽しむ。</p> <p>・材料などに、手や指・体全体の感覚を十分に働かせてかかわり、心をひらく。</p> <p>・自分と友だちや他学年の作品を大切にみる。</p> | | | <p>・自分の感覚や気持ち、学んできたことを基に、自分の良さを生かし表現したり鑑賞したりすることを楽しむ。</p> <p>・材料や場所などに、手や指・体全体の感覚を十分に働かせて進んでかかわり、心をひらく。</p> | | | <p>・楽しく活動に取り組み、美術を愛好する心構えを培う。</p> <p>・表面的な興味・関心からの楽しさだけでなく、自己実現していく充実感を伴った喜びをもつ。</p> | |

【体育科】

| 学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 1年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | | | |
|------------|---|--------|--------|--------|---|--------|--------|--------|---|--|--|--|
| 学びの区分 | I期 | | | | II期 | | | | III期 | | | |
| 育てたい力 | 各種の運動の基礎を培う時期 | | | | 多くの領域の運動を体験する時期 | | | | 自分にあったスポーツを選び深める時期 | | | |
| 指導のねらい | <ul style="list-style-type: none"> ・きまりや活動を工夫して各種の運動を楽しくできるようにするとともに、その基本的な動きや技を身に付け、体力を養う。 ・きまりを守り、誰とでも仲良く運動する態度を育てるとともに、健康、安全に留意し、意欲的に運動をする態度を育てる。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・活動を工夫して、各種の運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、その特性に応じた基本的な技能を身に付け、体力を養う。 ・協力、公正などの態度を育てるとともに、健康、安全に留意し、自己の最善を尽くして運動する態度を育てる。 ・運動についての課題を発見し、解決に向けて考えたことを他者に伝える力を養う。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・自分にあったスポーツを選び深める。 ・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を毎日に実践できるようにするため、運動や体力の必要性を理解し、基本的な技能を身に付ける。 ・運動についての課題を発見し、合理的な解決法に向けて思考、判断するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。 ・公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たすなどの意欲を育てるとともに、健康、安全を確保し、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てる。 | | | |
| 領域 | 体づくり運動 | 体づくり運動 | 体づくり運動 | 体づくり運動 | 体づくり運動 | 体づくり運動 | 体づくり運動 | 体づくり運動 | 体づくり運動 | | | |
| | 器械・器具を使った運動遊び | 器械運動 | 器械運動 | 器械運動 | 器械運動 | 器械運動 | 器械運動 | 器械運動 | 器械運動 | | | |
| | 走・跳の運動遊び | 走・跳の運動 | 走・跳の運動 | 走・跳の運動 | 陸上運動 | 陸上競技 | 陸上競技 | 陸上競技 | 陸上競技 | | | |
| | 水遊び | 水泳 | 水泳 | 水泳 | 水泳 | 水泳 | 水泳 | 水泳 | 水泳 | | | |
| | ゲーム | ゲーム | ゲーム | ゲーム | ボール運動 | 球技 | 球技 | 球技 | 球技 | | | |
| | 表現リズム遊び | 表現運動 | 表現運動 | 表現運動 | 表現運動 | 武道 | 武道 | 武道 | ダンス | | | |
| 保健領域 | 保健領域 | 保健領域 | 保健領域 | 保健領域 | 保健分野 | 保健分野 | 保健分野 | 保健分野 | | | | |
| 知識・技能(運動) | <ul style="list-style-type: none"> ・運動を楽しく行っていく中で、体の基本的な動きや各種の運動の基礎となる動きを身に付けることができるようにする。 ・運動を楽しく行い、力いっぱい活動する中で、体力の向上を図ることができるようにする。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさや喜びを味わうことを大切にしなから、技能を身に付けることができるようにする。 ・体力の高め方を理解させ、運動を楽しく行う中で体力の向上を図ることができるようにする。 ・心の健康、けがの防止及び疲労の予防について理解できるようにする。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校第5学年及び第6学年までの学習経験をふまえて、運動の合理的な実践を通して、特性や運動の成り立ち、体力の必要性などを理解し、運動の楽しさや喜びを味わいながら、基本的な技能を身に付けることができるようにする。 ・運動の意義や行い方、体の使い方や体の動きを高める方法、健康な生活などを理解することができるようにする。 ・健康、安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 | | | |
| 学ぶに向かう力 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動(遊び)に誰んでも取り組むことができるようにする。 ・誰とでも仲良く運動することができるようにする。 ・運動の順番やきまりを守ることができるようにする。 ・勝敗や結果を受け入れることができるようにする。 ・場の安全に気を付けることができるようにする。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・運動に誰んでも取り組むことができるようにする。 ・誰とでも仲良く運動し、友達のを認めることができるようにする。 ・規則を守ることができるようにする。 ・勝敗の結果を受け入れることができるようにする。 ・場や用具の安全を確かめることができるようにする。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・運動に誰んでも取り組むことができるようにする。 ・仲間と助け合って運動することができるようにする。 ・約束を守ることができるようにする。 ・分担された役割を果たすことができるようにする。 ・場や用具に気を配ることができるようにする。 | | | |
| 思考・判断・表現力等 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動(遊び)の行い方がわかるようにする。 ・動き方がわかるようにする。 ・友達の良い動きや、考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ・遊び方や簡単な規則を工夫したり、攻め方を選んだりすることができるようにする。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・練習の仕方を工夫することができるようにする。 ・動き方や動き、技のポイントを見つけられるようになる。 ・自分の力に応じた練習方法や場、規則などを選ぶことができるようにする。 ・自分の力に合った課題を選ぶことができるようにする。 ・規則を工夫したり、簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えられるようにする。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決の仕方を工夫することができるようにする。 ・記録への挑戦の仕方を工夫することができるようにする。 ・自分の課題に応じた練習の場や段階を選ぶことができるようにする。 ・ルールを選ぶことができるようにする。 ・自分のチームの特性に応じた作戦を立てることができるようにする。 ・自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習経験を踏まえ、それぞれの運動が有する特性や魅力を理解し、運動の楽しさや喜びを味わう。 ・自分に適した運動の基礎を培って、生涯にわたって運動を毎日に実践するための基礎となる知識や技能を身に付ける。 ・個に応じた体力の向上を図る能力として、運動に共通して高まる体力やその高め方を理解するとともに、目的に応じた運動の計画を立てて取り組むことができるようにする。 ・生涯を通じて自身の健康を保持増進するための知識、技能を身に付けるようにする。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・仲間と合理的な役割に責任をもって、自主的に取り組むことができるようにする。 ・よいプレーや演技を認め、称賛することができるようにする。 ・ルールやマナーを大切にすることができるようにする。 ・フェアなプレイを大切にすることができるようにする。 ・互いの違いやよさを認め合うことができるようにする。 ・試合に貢献することができるようにする。 ・生涯スポーツの現場を想定して、健康、安全を確保することができるようにする。 ・生涯にわたって運動に親しむことができるようにする。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・自己の課題やチームの課題を発見することができるようにする。 ・「運動の特性や成り立ち」「技術(技)の名称や行い方」「関連して高まる体力」「伝統的な考え」「表現の仕方」などの知識や技能を関連させ、自己やチームの学習経験への取り組み方を工夫できるようにする。 ・実践と思考を繰り返して、課題の合理的な改善に向けて思考し判断することができるようにする。 ・自己や仲間の考えたことを他者に伝えられるようにする。 | | | |

【技術科】

| 学 年 | | 7年 | 8年 | 9年 |
|----------------------|------------------------------|---|-----------------------------|----|
| 学び区分 | | Ⅱ期 | | |
| 育てたい力 | | 生活を工夫し創造する能力と、主体的に課題見つけ、解決する態度 | | |
| 指導のねらい | | <p>○技術の発達と生活や産業などの変化について考え、これらの変化の様子から技術が果たしている役割について関心をもつ。</p> <p>○技術が環境問題の原因と解決について、深くかかわっていること、技術の進展と環境との関係について関心をもつ。</p> <p>○材料の特徴と利用方法を知り、材料と加工に関する技術を適切に評価し活用する能力を身に付ける。</p> <p>○生活に必要なものを設計・製作し、製作品の機能と構造を工夫する能力を身に付ける。</p> <p>○生物育成に関する基礎的・基本的な知識および技術を習得する。</p> <p>○生物育成に関する技術が社会や環境に果たす役割と影響について理解する。</p> <p>○エネルギーの変換方法や力の伝達の仕組みについて知り、機器の保守点検と事故防止ができる。</p> <p>○社会や環境との関わりから、エネルギー変換に関する技術を適切に評価し活用する能力と態度を身に付ける。</p> <p>○エネルギー変換に関する技術を利用した製作品の設計・製作、電気回路の配線・点検ができる。</p> <p>○安全に配慮した製作品の設計・製作を通して、製作品の仕組みや構造を工夫し、知的財産を創造・活用しようとする態度を身に付ける。</p> <p>○目的や条件に応じた栽培計画を立て、育てることができる。</p> <p>○情報に関する基礎的・基本的な知識および技術を身に付け、情報に関する技術が社会や環境に果たす役割と影響について理解を深める。</p> <p>○情報社会を適切に評価し活用する能力と態度を身に付ける。</p> <p>○コンピュータを使ったコミュニケーション力を身に付け、情報モラルをもとに意見や情報を発信することができる。</p> <p>○情報活用能力を身に付ける。</p> <p>○計測・制御のためのプログラムの作成を通して、計測・制御の基本的な仕組みを知り、プログラムの作成ができる。</p> | | |
| 重点指導事項 | 材料に関する技術 | 生活や産業の中で利用されている技術 | | |
| | | ・技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割 | | |
| | | ・技術の進展と環境との関係 | | |
| | エネルギー変換に関する技術 | 材料と加工法 | | |
| | | ・材料の特徴と利用、加工方法 工具や機器の安全な使用法 | | |
| | | 製作品の設計・製作 | | |
| | 生物育成に関する技術 | ・使用目的や使用条件に即した機能と構造の理解 | | |
| | | ・製作図の表し方と図かき、部品加工、組み立て、仕上げ | | |
| エネルギー変換に関する技術 | | エネルギー変換の機器の仕組みと保守点検 | | |
| ・エネルギーの変換方法や力の伝達の仕組み | | ・エネルギーの変換方法や力の伝達の仕組み | | |
| | ・機器の基本的な仕組み、保守点検と事故防止 | ・エネルギー変換に関する技術の適切な評価・活用 | | |
| | ・エネルギー変換に関する技術を利用した製作品の設計・製作 | ・製作品に必要な機能と構造を選択・設計 | | |
| | ・製作品の組立て、調整や電気回路の配線・点検 | | | |
| | 生物の生育環境と育成技術 | 生物の生育環境と育成技術 | | |
| | 生物の育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法 | ・生物育成に関する技術の適切な評価・活用 | | |
| | 生物育成に関する技術の適切な評価・活用 | | | |
| | 生物育成に関する技術を利用した栽培 | 生物育成に関する技術を利用した栽培 | | |
| | 目的とする生物の育成計画立案及び生物の栽培 | ・目的とする生物の育成計画立案及び生物の栽培 | | |
| 情報に関する技術 | 情報モラル | 情報モラル | 情報通信ネットワーク | |
| | ・著作権や発信した情報に対する責任、情報モラル | ・著作権や発信した情報に対する責任、情報モラル | ・コンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組み | |
| | ・情報に関する技術の適切な評価・活用 | ・情報に関する技術の適切な評価・活用 | ・情報通信ネットワークにおける基本的な情報利用と仕組み | |
| | | | デジタル作品の設計・制作 | |
| | | | ・メディアの特徴と利用方法を知り、制作品の設計 | |
| | | | ・多様なメディアを複合した表現や発信 | |
| | | | プログラムによる計測・制御 | |
| | | | ・コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組み | |
| | | | ・情報処理の手順の思考、簡単なプログラムの作成 | |

【家庭科】

| 学年 | | 1～4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 |
|--------|---------------|---|--|----------------------------------|---|----|----|
| 学びの区分 | | I期 | II期 | | III期 | | |
| 育てたい力 | | ○生活科・総合的な学習の時間・特別活動 ・規則正しい生活 ・自分の役割 ・家族や地域の人との関わり ○理科 ・生物と環境の関わり ○学校給食 ・楽しい食生活習慣 | ●家庭生活を大切にする心情と基礎的な技能 ●食を大切にし、生活を豊かにしようとする心情と基礎的な技能 ●環境を大切にする心情 | | ●家庭生活を大切にし、自分の役割を自覚して行動しようとする心情とその基礎的な技能 ●食を大切にする心情と自分で食事を作り自立していくことができる技能 ●生活を豊かにしようとする心情と実践力 ●環境を大切にした生活の実践力 | | |
| 重点指導事項 | 家族・家庭生活 | | ・家庭の仕事と分担 | | ・自分の成長と家族や家庭生活とのかかわり | | |
| | 衣食住の生活 | | ・生活時間の工夫 | | ・これからの自分と家族・家族関係をよりよくする方法 | | |
| | | | ・調理計画 | | ・家庭や家族の基本的な機能、家庭生活と地域とのかかわり | | |
| | | | ・材料の洗い方、切り方、味付け | | ・食品の栄養的特質 | | |
| | | | ・配膳及び準備と後片付け | | ・中学生の1日の献立 | | |
| | | | ・ゆでたり、いためたりする調理 | | ・食品の選択 | | |
| | | | ・米飯とみそ汁 | | ・日常食の調理 | | |
| | | | ・栄養を考えた献立作り | | | | |
| | | | ・衛生 | | | | |
| | | | ・形などの工夫と製作計画 | | ・布を用いた物の製作、生活を豊かにするための工夫 | | |
| | | | ・手縫いやミシン縫いによる製作と活用 | | ・製作する物に適した材料や縫い方 | | |
| | | | ・用具の安全な取扱い | | ・用具の安全な取扱い | | |
| | 消費生活・環境 | | ・快適に過ごすための住まい方、衣服の選択 | ・家族の生活と住空間との関わり、家族の安全を考えた住空間の整え方 | | | |
| | ・物や金銭の工夫した使い方 | | | | | | |
| | ・環境に配慮した生活 | ・環境に配慮した消費生活の工夫と実践 | | | | | |

【国際科・英語科】

| | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | | |
|-----------------------------------|---|--|--|--|---|--|--|---|----|--|--|---|
| | | I期 | | | II期 | | | III期 | | | | |
| 日 標 | 港 区 | 外国語による実践的コミュニケーションの能力の基礎を培うとともに、広く世界に目を向けたい国際理解教育を推進し、国際人としての資質を育成する。 | | | | | | | | | | |
| | 学 習 指 導 要 領 | <ul style="list-style-type: none"> 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う地盤の築きを養う。 外国語を通して、自認野の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 外国語の音声や文字、辞彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付く、これらの言語を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しむ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実践的コミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の辞彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、疑問を意図しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、相手に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 外国語の音声や辞彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの実践を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実践的コミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 | | | | |
| | 態 度 | <ul style="list-style-type: none"> 外国語の表現に触れ、楽しくコミュニケーション活動に参加しようとしている。 英語の表現に慣れ親しむ、積極的にコミュニケーション活動に参加しようとしている。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 外国語の表現や表情、身振りを総合的に活用して、主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 英語を総合的に活用して、コミュニケーションの継続を図ろうとしている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 英語を総合的に活用して、コミュニケーションの継続を図ろうとしている。 | | <ul style="list-style-type: none"> 英語を総合的に活用して、より深いコミュニケーションの継続を図ろうとしている。 |
| コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 能 力 | 表 現 の 能 力 | <ul style="list-style-type: none"> 簡単な質問に外国語で応じようとしている。 いろいろな単語を知り、それを使って解そうとする。 | | <ul style="list-style-type: none"> 基本的な表現を用いて挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりする。 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合う。 | | <ul style="list-style-type: none"> 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができる。 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問したり質問に答えたりして、伝え合うことができる。 | | <ul style="list-style-type: none"> 関心のある事柄について、話したり書いたりして伝え合うことができる。 自分の考えや気持ちを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。 | | <ul style="list-style-type: none"> 日常的な話題について、事実に自分の考え、気持ちなどを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。 | | <ul style="list-style-type: none"> 日常的な話題や社会的な話題に関して、考えたことや感じたこと、その理由などを伝え合うことができる。 社会的な話題について、事実や自分の考えなどを整理してまとまりのある文章を書くことができる。 |
| | 理 解 の 能 力 | <ul style="list-style-type: none"> 聞き取った外国語の表現を詳しく模倣し、外国語の音やリズム、イントネーションに慣れ親しむ。 | | <ul style="list-style-type: none"> 自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を読み取る。 身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味がわかる。 アルファベット（大文字・小文字）を読んだり、書いたりする。 | | <ul style="list-style-type: none"> 自分のことや簡単な事柄について簡単な語句や基本的な表現を読み取るができる。 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を読み取るができる。 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や表現の意味を読みとったり、書いたりすることができる。 | | <ul style="list-style-type: none"> 日常的な話題について、必要な情報を読み取るができる。 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を読み取るができる。 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。 | | <ul style="list-style-type: none"> 日常的な話題について、必要な情報や語の概要を読み取るができる。 日常的な話題や社会的な話題について、英語で書かれた短い文章の概要を捉えることができる。 | | <ul style="list-style-type: none"> 日常的な話題や社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる。 日常的な話題や社会的な話題について、英語で書かれた文章の要点を捉えることができる。 |
| 外 国 の 言 語 や 文 化 に 対 す る 関 心 ・ 理 解 | <ul style="list-style-type: none"> ものの見方や違いに気付く。 外国の歌や遊びを楽しむ。 外国の習慣や行事を知る。 姓、名の読みやイニシャルを理解する。 日本の伝統行事を理解して、外国語で伝える。 外国の伝統行事を理解し、楽しむ。 | | <ul style="list-style-type: none"> 外国の言語を用いて主体的にコミュニケーションを図ることの楽しさや大切さを知る。 日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付く。（挨拶、相違、ジェスチャー、文字等） 生活や習慣、行事の違いを知り、多様な考え方があることに気付く。（食事やマナー、季節の行事等） 異なる文化をもつ人々との交流などを体験し、文化等に対する理解を深める。 | | <ul style="list-style-type: none"> 外国の伝統行事を理解する。 外国語を用いて、趣を案内したり、日本の文化を紹介したりする。 英語の特徴やきまりに関して理解する。（音声、感嘆符、引用符、慣用表現等） 外国の習慣や伝統行事を理解する。 外国と日本の通貨（単位）等の違いを知る。 外国での生活や文化を日本のものと比較し、その特徴を考える。 | | <ul style="list-style-type: none"> 英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付ける。 外国の言語や文化、習慣について興味をもち、その類似点や相違点等、互いの特徴や価値観などを尊重する。 語外国の言語やその背景にある文化を理解し、自国の文化を振り返り、伝えようとしている。 | | | | | |
| ク ラ ス ル ーム イ ン グ リ ッシュ | <ul style="list-style-type: none"> Stand up. Hello everyone. How are you? What day is it today? What's the date today? How is the weather today? That's all for today. See you. Thank you. Take care. | | | | | | | | | | | |

【道徳科】

| 学年 | 1～4年 | 5～7年 | 8・9年 |
|---|---|--|--|
| 学びの区分 | I期 | II期 | III期 |
| <p>A 自分自身に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ○善悪の判断、自律、自由と責任 ○正義、誠実 ○節度、節制 ○個性の伸長 ○希望と勇気、努力と強い意志 ○真理の探究（7～9年） | <ul style="list-style-type: none"> ○正しいと思つたことは自信をもって行う児童の育成。 ○過ちを素直に改め、正直に明るく生活する児童の育成。 ○自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度のある生活をする児童の育成。 ○自分の特徴に気付き、長所を伸ばそうとする児童の育成。 ○自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜くことのできる児童の育成。 | <ul style="list-style-type: none"> ○自由を大切にし、自律的に判断し、責任のある行動をする児童生徒の育成。 ○誠実に明るく生活する児童生徒の育成。 ○安全に気を付けることや生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度をまもり節制に心掛ける児童生徒の育成。 ○自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばす児童生徒の育成。 ○より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があつてもくじけず努力して物事をやり抜く児童生徒の育成。 ○真理を大切にし、物事を探求しようとする心をもつ児童生徒の育成。 | <ul style="list-style-type: none"> ○自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任を持つ児童の育成。 ○望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、態度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする生徒の育成。 ○自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する生徒の育成。 ○より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気をもち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げる生徒の育成。 ○真実を大切にし、真理を探究して新しいものを生み出そうと努める生徒の育成。 |
| <p>B 人との関わりに関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ○親切、思いやり ○感謝 ○礼儀 ○友情、信頼 ○相互理解、寛容（3～9年） | <ul style="list-style-type: none"> ○相手のことを思いやり、進んで親切にできる児童の育成。 ○家族など生活を支えてくれている人々や現在の生活を築いてくれた高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接することのできる児童の育成。 ○礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接することのできる児童の育成。 ○友達と互いに信頼し、学び合つて友情を深め、異友情、信頼性についても理解しながら、人間関係を築いていくことのできる児童の育成。 ○約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすることのできる児童の育成。 | <ul style="list-style-type: none"> ○誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立つて親切にする児童生徒の育成。 ○日々の生活が家族や過去の多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応える児童生徒の育成。 ○時と場合をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する児童生徒の育成。 ○友達と互いに信頼し、学び合つて友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていく児童生徒の育成。 ○自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重する児童生徒の育成。 | <ul style="list-style-type: none"> ○思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深める生徒の育成。 ○礼儀の意義を理解し、時と場合に応じた適切な言動をとる生徒の育成。 ○友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていく生徒の育成。 ○自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があつたことを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていく生徒の育成。 |
| <p>C 集団や社会との関わりに関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ○規則の尊重 ○公正、公平、社会正義 ○勤労、公共の精神 ○家族愛、家庭生活の充実 ○よりよい学校生活、集団生活の充実 ○伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 ○国際理解、国際親善 | <ul style="list-style-type: none"> ○約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ることのできる児童の育成。 ○誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接することのできる児童の育成。 ○働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働くことのできる児童の育成。 ○父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合つて楽しい家庭をつくることのできる児童の育成。 ○先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合つて楽しい学級や学校をつくることのできる児童の育成。 ○我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことのできる児童の育成。 ○他国の人々や文化に親しみ、関心をもつことのできる児童の育成。 | <ul style="list-style-type: none"> ○法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自己の権利を大切にし、義務を果たす児童生徒の育成。 ○誰に対しても差別をすることなく偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努める児童生徒の育成。 ○働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役に立つこととする児童生徒の育成。 ○父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つこととする児童生徒の育成。 ○先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合つてよりよい学級や学校をつくることとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努める児童生徒の育成。 ○我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつ児童生徒の育成。 ○他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもつて国際親善に努める児童生徒の育成。 | <ul style="list-style-type: none"> ○法やきまりの意義を理解し、それらを守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自己の権利を大切にし、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努める生徒の育成。 ○正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努める生徒の育成。 ○社会参画の意義と社会参画の自覚を高め、公共の精神をもつてよりよい社会の実現に努める生徒。 ○勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献する生徒の育成。 ○父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもつて充実した家庭生活を築く生徒の育成。 ○教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合つてよりよい校風をつくることとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努める生徒の育成。 ○郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもつて郷土を愛し、進んで郷土の発展に努める生徒の育成。 ○優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに、日本人としての自覚をもつて国を愛し、国家及び社会の形成者として、その発展に努める生徒の育成。 ○世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与する生徒の育成。 |
| <p>D 生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生命の尊さ ○自然愛護 ○感動、畏敬の念 ○よりよく生きる喜び（7～9年） | <ul style="list-style-type: none"> ○生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること ○自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすること。 ○美しいものや気高いものに感動する心をもつこと。 | <ul style="list-style-type: none"> ○生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重する児童生徒の育成。 ○自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることとする児童生徒の育成。 ○美しいものや気高いものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつ児童生徒の育成。 ○よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じる児童生徒の育成。 | <ul style="list-style-type: none"> ○生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重する生徒の育成。 ○自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の豊穡に努める生徒の育成。 ○美しいものや気高いものに感動する心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める生徒の育成。 ○人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだす生徒の育成。 |

【総合的な学習の時間】

| 学 年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | |
|--------|------------------------------|--|---|---|---|---|---|---|
| 学びの区分 | Ⅰ期 | | Ⅱ期 | | | Ⅲ期 | | |
| 育てたい力 | 身近な体験から課題に気付く力 | | 興味の中から課題への「問い」に付き、探求する力 | | | 探求課題への見通しをもった課題設定と解決の力 | | |
| 指導のねらい | 身近な生活に関わることや興味のあることから問題を見だし、 | | 探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにする | | | 探究的な活動を通して、自己の生き方を考え、自他のよさを生かしながら協力し、進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組むことができるようにする | | |
| 重点指導事項 | 学習内容 | わたしたちのまち、どんなまち（地域学習） ASEANの国を知ろう（国際理解教育） 伝統文化に親しもう（伝統文化） プログラミング教育 探究学習 | だれにとっても優しい街—御成門—（地域学習） ASEANの国を知ろう（国際理解教育） 伝統文化に親しもう（伝統文化） プログラミング教育 描こう夢の地図（キャリア教育） 探究学習 | 街づくり—街を知り、街のよさを高めよう—（地域学習） ASEANの国を知ろう（国際理解教育） 伝統文化に親しもう（伝統文化） 利島を知ろう（利島小との連携） 小中合同校外学習 探究学習 | 見つめ直そう御成門の街（地域学習） ASEANの国を知ろう（国際理解教育） 伝統文化に親しもう（伝統文化） 金融教育 小中合同校外学習 探究学習 | テーマ学習「福祉」 移動教室 平和教育 職業調べ学習 小中合同校外学習 | テーマ学習「環境」 職場体験学習 校外学習 平和教育 | テーマ学習「国際理解」 進路学習 修学旅行に関わる学習 平和教育 |
| | 知識・技能 | ・地域の素晴らしさや工夫が分かる。 ・現状や、人々の工夫や努力が分かる。 ・情報を比較・分類するなど、探求の過程に応じた技能を身に付けている。 | ・よさや課題及びそれに携わる人々の願いが分かる。 ・街の歴史と社会、自分たちとの関わりが分かる。 ・情報を比較・分類・関連付けるなど、探求の過程に応じた技能を身に付けている。 | ・課題の解決に必要な知識及び技能を身に付ける。 ・課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解する。 | | | | |
| | 思考・判断・表現力等 | ・自分の関心から課題を設定し、解決方法を考えて追究している。 ・目的に応じた対象を決め、自分たちの身近なところから情報を集めている。 ・相手に応じてわかりやすくまとめ、表現している。 主な思考ツール イメージマップ、ステップチャート、クラゲチャート、ピラミッドチャート | ・人々の思いをふまえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見通しをもって追究している。 ・目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりしている。 ・相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ、表現している。 イメージマップ、ステップチャート、クラゲチャート、ピラミッドチャート | ・実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立てて追究している。 ・必要な情報を集め、整理・分析してまとめ、表現している。 ・コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切かつ効果的に活用して、情報を収集・整理・発信している。 | | | | |
| | 学びに向かう力 | ・課題の解決に向け、目的意識をもって意欲的に取り組んでいる。 ・自分のよさや自分にできることに気付いている。 ・自分と異なる意見や考えがあることに気付く、相手の立場を理解する。 ・学習したことを振り返り、生活に生かそうとしている。 | ・課題意識をもって、自分なりの方法を工夫しながら探究活動に取り組んでいる。 ・探究活動を通して、自分の生活を見直し、自分の特徴を理解しようとしている。 ・異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しながら、探究活動に取り組んでいる。 ・学習の仕方を振り返り、学習や生活に生かそうとしている。 ・探究活動を通して、自分と実生活・実社会の問題の解決に取り組もうとしている。 | ・課題意識をもって、探究的な学習に主体的・協働的に取り組んでいる。 ・互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとしている。 ・探究的な学習に取り組むことを通して、自己を理解し、将来の生き方を考えている。 | | | | |